



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長 主題: 私たちの未来は、今日より始まる

アジア地域会長 主題: ワイズ運動を尊重しよう

東日本区理事 主題: 明日に向かって、今日動こう

あずさ部長 主題: あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!

甲府クラブ会長 主題: 楽しみながら広げよう、ワイズの心

Joan Wilson (カナダ)

Tung Ming Hsiao (台湾)

利根川 恵子 (川越)

浅羽俊一郎 (東京山手)

丹後 佳代

甲府クラブ
2016年9月会報
●今月の強調目標
ユース

■今月のことば■

仙洞田安宏会員選

Let it be (When I find myself in times of trouble Mother Mary comes to me

Speaking words of wisdom Let it be) ポール・マッカートニー(ザ・ビートルズ)

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

チームワークについて

会長 丹後佳代

とても暑い日が続き、台風の直接的被害が多かった8月が終わり、少し穏やかになってほしいと願う、9月になりました。

今月の卓話は今後の山梨YMCAについて皆さんと一緒に考えて頂きたいと思います。

山梨YMCAは道路が拡幅される関係で、敷地を削られてしまいます。そのため、今年中に移動するのか、建て替えるのかを決めなくてはなりません。また、どちらの選択をするにしても、とても巨額な資金が必要となります。今後、甲府クラブでも一丸となって、資金集めや移転作業、引っ越し作業に協力しなくてはなりません。

私は仕事で、企業に社員研修を提供しています。その中でちょうど「チームワーク研修」を行いました。今後の甲府クラブにもチームワークがとても必要になってきます。チームワークを形成するのに必要なのは;

- ・個々の特性を知り、「強み」を生かし、「弱み」を補うこと。
- ・目標を明確にし、同じ方向に向かうこと。
- ・コミュニケーションを深め、一丸となること、です。

また、皆さんを巻き込むことによって、一丸となり、今後の甲府ワイズの活動も活性化していきたいと思っています。皆様、いろいろとご協力をお願いいたします。

8月のデータ

会員数	38名	例会出席	26名
メネット	7名	出席率	68%
ビジター	土井宏二様(東京むかでクラブ会長) 及び同マゴメット		
ニコニコボックス	8,526円 (累計 19,871円)		

9月例会

日時: 2016年9月13日(火) 18:45~20:45

会場: 談露館

担当: 地域奉仕委員会 司会: 仲澤昌郎委員長

プログラム

- ・開会点鐘 丹後佳代会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶 丹後佳代会長
- ・今月の言葉・食前感謝 仙洞田安宏会員
- ・ワイズディナー
- ・卓話 「今後の山梨YMCAについて」
露木淳司総主事
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 丹後佳代会長

食前観

われ今幸いに、仏祖の加護と衆生の恩恵によって
この清き食を受く、つつしんで食の来由をたづねて
味の濃淡を問わず、その功德を念じて
品の多少をえらばじ。 「いただきます」

9月 Happy Birthday

メン	山崎善当(1日)	仙洞田安宏(15日)
	鈴木健司(18日)	
メネット	遠藤充子(4日)	渡辺隆子(隆)(5日)
	北条順子(12日)	

(アニバーサリーは該当者なし)

8月納涼例会報告

8月9日、7名のメネットを迎え、いつもの談露館で納涼例会が開催された。丹後会長から、怒涛の一年が終わり、今年は楽しく活動しようと挨拶があった。今月の言葉は小倉会員。幸せな日々を送る秘訣として、言葉、行い、願いについて述べられたペテロの手紙が紹介された。



次いで、東京むかでクラブの土井会長から、10月に山中湖で予定されている「シニアYYYキャンプ」へのお誘いがあった(写真)。前年度の、皆勤賞その他の表彰が行われた。賞品は、各葉に個人の名前が印字された便箋であった。

いつものディナーに、アルコールも入り、荒川会員の司会で前年度慰労会を兼ねた納涼会がスタート。仙洞田会員が、パワーポイントで映像を映しながら、渡辺理事の八面六臂の活躍を紹介した(p.5,p.6 参照)。



渡辺前理事からの振り返り。人的な協力はもちろん、財政的な援助、長野での区大会のサポートにも感謝。東日本区がスタートした19年前から減っていた会員が、前年はわずかだが増加に転じた。単年度の黒字決算も久しぶり。今後への道筋がつけられた。

また、台北の国際大会の報告(3ページ参照)と、シンガポール・台南・甲府のトライアングルクラブ活動の提案があった。台湾地震のドネーションに対する、台湾区の理事から甲府クラブへの感謝状も披露された。

標前部長から、協力へのお礼と、「私がクラブ会長の時に、渡辺理事の推薦状を出した。区キャビネットも重要だが部長として支えることにした」と思い出が語られた。

久しぶりに参加なさった石原会員からは、先日亡くなったピアニストの中村紘子を招請したことがきっかけで甲府クラブの基金が出来たこと、及び「八月は六日九日十四日」という句が紹介され、平和の大事さについて認識を新たにしたのであった。(石川博)

今後の予定

- 9月27日(火) 9月役員会(YMCA 18:30~)
- 10月11日(火) 10月例会(談露館 18:45~)
- 10月22日(土) あずさ部会(水道橋、在日本韓国YMCA アジア青少年センター 13:30~ 東京山手C)

8月役員会報告

◎8月23日(火) 18:30~19:50 山梨YMCA
◎出席者 標、小倉、秋山、仙洞田、大澤、荒川

【報告事項】

- 8月例会について：1ページ及び左欄参照。
会費をもう少し検討すれば良かった。仙洞田さんの作成、発表してくれたパワーポイントで東日本区、あずさ部の活動内容がよくわかった。
- YMCAふくろうキャンプの報告：参加予定だった会員が欠席。スイカ割りのスイカを提供した。
- 東日本区EMC委員会：4ページ参照。

【協議事項】

- 9月例会について：地域奉仕委員会の仲澤委員長が欠席のため事前に連絡されていた内容を協議し決定。
- 10月例会について：会員増強委員会担当。大澤委員長から、適切な卓話者に依頼する。詳しくは次回。
- 十勝クラブ40周年記念例会について：祝電で対応。
- その他
 - ・ぶどうファンドの件：甲府クラブのファンドとして今後委員会に移行したほうがよいが、今期は丹後会長を中心にPRし、協力して行うことを決定。
 - ・次期役員の件：選考委員会を早めに開いて、次期クラブ会長を選考、決定する。(標)

甲府21クラブ 8月納涼例会

8月21日(日)、笛吹市一宮のブドウ園「金桜園」で行われた甲府21クラブの納涼例会に参加させていただきました。甲府クラブからは、あずさ部長以外、久しぶりの参加ということで、とても歓迎して頂きました。



毎年恒例、葡萄棚の下で、バーベキューをしながらの例会で、東京八王子クラブ、東京西クラブからは毎回参加していらっしゃるとのことでした。あずさ部長の浅羽さんも参加されていました。おいしい葡萄とおいしいワイン、おいしい葡萄液もあり、みんなで大いに語り合いました。バーベキューのあと、それぞれ全員が自己紹介とワイズへの思いを披露するなど、とても盛り上がった例会でした。(丹後)

台北国際大会参加報告

8月4日～7日、由緒ある圓山大飯店をメイン会場に世界63か国、1、522クラブ、27、315会員から800名弱（東西日本区から180名）の参加で、2016-17年度国際大会が開催されました。

一日目は各国のフラッグセレモニー、藤井寛敏大会実行委員長の歓迎の挨拶、基調講演が開催され、直前国際会長ウイッチャンさん（タイ）主催の晩餐会が圓山大飯店で京劇衣装、台湾先住民衣装でのアトラクションで大変な盛り上がりでした。

二日目は国際本部書記長西村隆夫さんから、世界でのワイズの活躍が披露されました。

ワイズ・YMCAの草の根運動でワイズ創立100年に100カ国、50、000名のワイズを目指そうとの事でした。

午後から4グループに分かれたフォーラムが開催され、浅羽あずさ部長がコーディネートされ、国際的に十分理解されていないロールバックマラリヤ運動を西日本区川上CS事業主任のバンジョーによるパフォーマンスが加わり、分かり易い紹介がなされた地域奉仕フォーラムでした。

その後、各地域会議が開催され、エドワードアジア直前地域会長から西日本区は昨年8月の京都でのアジア地域大会成功が評価され、また東日本区は活発な地域奉仕活動が評価され、記念の楯をいただきました。この席で今年度からアジア太平洋地域（ASIA PACIFIC AREA）となりオーストラリア・ニュージーランド等も同じ地域となりました。この日の晩餐会は会場をEXPO DOM Eに移し、次期国際会長 Henry Grindheim さん（ノルウェイ）主催で行われました。

三日目は前日のフォーラムの報告、そして午後からエクスカッションに出かけ、夜は現理事ジョアン（Joan Wilson）さん（女性）（カナダ）主催の晩餐会はドレスコードが定められたフォーマルな形で開催されました。

最終日は IYC2016（国際ユースコンボケーション）の報告がありました。これには東日本区から6名の中にあずさ部・長野クラブ小林会員のコメント小林太地君（写真）が参加され、貴重な経験が得られたと



報告をいただきました。

最後は、2018年次期国際大会は韓国・麗水（yeosu）と紹介されました。2017年はアジア地域大会がタイ・チェンマイで開催されることが決定されています。

甲府クラブにIBCトライアングルも求められています。ワイズが一堂に会し、楽しむことができる貴重な場面です。ぜひ、次回はクラブの皆様と計画できると楽しいと思います。（渡辺隆）

東日本区のEMC事業委員会

本来ならば年度のスタート時に開催する、東日本区のEMC事業委員会が、8月20日（土）に、菊地委員長（仙台青葉城クラブ）のもと4名の各部主査が、新宿区の日本YMCA同盟会館に集合、開催されました。私が、あずさ部のEMC主査として出席しました。

会議の折に、まだ決定ではありませんが、話題となった話を報告します。初めに、39歳以下のヤングメンバー会員が東日本区大会に出席する場合には、区から登録料の半額補助という規定がありましたが、2018-19年度まで継続することを確認しました。なお、会員拡大の意味からも、年齢制限を設けず新入会員すべてに当てはめて、大会への参加を促した方が良いという意見もありました。

次に、例年実施しているインビテーション・キャンペーンを本年は、12月より翌年3月までの間、各クラブの会員数により、目標値を定めてその数字をアワードの対象とする提案がありました。

会員拡大の問題は、重要な問題なので、クラブ会長には1年間を通して、事あるごとにPRして戴きたいと要望がありました。

最後に、本年は日本区が東西に分割されて20年目に当たり、御殿場の「東山荘」も新築完成されるので、来年2月に東と西の日本区の交流会を「東山荘」にて開催予定です。この機会にワイズ会員に参加を呼びかけて欲しい旨を伝えられました。以上です。（秋山）

ニコニコメッセージ

石原会員 ご無沙汰しておりましたが、今日は久しぶりに夫婦で納涼例会に参加できて、感謝です。渡辺Y's、標Y's、秋山Y'sの大活躍、ご苦労様でした。

渡辺(徳)会員 今日の例会に石原会員が出席され、お元気な様子で安心しました。暑い時期です。元気で過ごしてください。

北口情報

ラ・ロの会

バラを育てる「ラ・ロの会」は、役員会を8月24日(水)に開催し、山梨県の助成金を活用して藤村記念館の正面両角に高さ2.5mのバラの円柱を立てる事を決めました。それと共に、北口シビックコアエリアに位置する企業・団体に鉢を設置し、バラの名物化を図っていくことにしました。

甲府駅北口まちづくり委員会から

第15回サマーin こうふー2016 を開催し、中華でおなじみの陳建一氏らを招き、中華の四大料理を作って貰いました。

最近では食を求めて観光することが時代の流れの中で活発になってきたこともあり、甲府の食文化の発展を創造し観光客の招へいに役立つようにイベントを組みました。

今回のイベントは三部構成で、一部は伸太郎のまちなかステージ、二部は中華料理・トークショー、三部には女性を主体にしたフラメンコなどを行い、一日を年代層を問わず楽しめるように企画しました。今後とも、ワイズメンズクラブのご協力をお願いします。(内藤)

YMCA たより

70年目の夏のプログラムが無事終了しました。今年はキャンプが4本、わいわい地球塾が27本実施され、延べ354名の参加者を得ることができました。また、プライムタイムは夏休みも休むことなく、早朝から50名前後の子どもたちが参加し、連日大賑わいでした。特に今年は野外活動や社会見学の他に、パルシステム山梨と提携し、食育、環境、くらしシリーズと称して、楽しく学べるプログラムを導入し大変好評でした。キャンプでは、甲府21の廣瀬健・まさみ夫妻の協力を得て、本栖湖の浩庵キャンプ場をベースに水辺のアウトドアプログラムを本格的に楽しむことができるようになりました。また、富士五湖クラブの望月勉会員のお声かけをお受けし、2年ぶりに富士登山ががんキャンプが復活！19名の子供たちが富士登頂に挑みました。そして恒例のフクロウキャンプは36回目を数え、各ワイズ、ロータリーの皆様のご支援ご協力の下、八ヶ岳のふもとにて充実したひと時を過ごすことができました。

さて、この暑い夏の間も休むことなく進められている山梨YMCA将来計画検討委員会では、野々垣健五委員長を中心に活発な論議が交わされ、現在のところ、新会館候補地が16箇所提示されています。どれも一長一短あり、なかなか結論までの道のりは長そうですが、今年度内には明確な方向付けをしようと着実に前に進んでいます。皆様、耳寄りな情報がありましたら、YMCAまでお寄せください。(露木)

闘病生活に想う

—ワイズとの絆—

平原貞美

第19回長野大会に参加された多くの皆さんから、善光寺に象徴される寺町としての特性を巧みに溶け込ませた地域性あふれた大会としてご好評を頂いたことは、これからのワイズの在り方の一つを示されたものとして、欠席されたワイズにもぜひ伝えたいということから、見て来たような記事(前回)となりました。

それというのも、長野クラブの設立準備以来、手塩にかけて接してきたそれぞれの会員が、素晴らしい持てる技能を発揮されたのが、私には見なくてもわかるからです。それに、歴史と伝統の安心感に包まれた感のある、今の甲府クラブこそ、新時代に挑戦する、やる気、勇気、行動力を発揮してほしいと念じています。

ワイズメンズクラブは米国でYMCA支援を目的として設立され、日本も戦後国際協会に加盟してスタートしました。しかし、米国のYMCAは、現在、誰の手を借りることもなく活動できるまでに拡大成長し、ワイズの必要性が減少しています。日本のワイズ活動も、本来の目的を逸脱しないまでも、時代の流れ、求めに対応した活動内容の多様化を積極的に図っていくべきだと考えます。幸い日本のワイズは優れた人材と力を持っています。その素材を生かすためにも、甲府クラブはもっと発想転換への智恵を絞り出すべきではないでしょうか。

- ・ワイズは単なる奉仕だけをする団体ではなく、まず、自己自身を豊かにする学びの場であること。
 - ・更に多くのワイズと交流の絆を深め、人間としての資質を高める社交の場であること。
 - ・そこで培われたものが奉仕の原点となり、地域の人々を巻き込み、一体化した奉仕活動に連なる場となること。
- ワイズの奉仕は単にモノを寄付するだけのチャリティや、公園の草取りのボランティアなどとは一線を画した奉仕であることを認識すべきだと思います。

この典型例ともいえる事業を、甲府クラブは既に実施しています。甲府市が駅北口一帯を広場とし、藤村記念館を移築した際に、その周囲にバラ50本を植えたのです。これは甲府クラブ創立60周年の記念事業でしたが、その維持管理は容易ではありません。そこで、地域の企業の賛同の元、ボランティアを募集し、主婦らを中心に60人で「ラ・ロの会」を組織しました。「NPOまちづくり委員会」の全面的協力を得て、植えたバラの世話だけでなく、まちづくりの発展にも寄与し、今ではバラが200本に迫るまでになりました。 <次号へ続く>

渡辺理事キャビネットの活動

2015/7/11 第1回東日本区役員会



初例会で行政にRBMをPR



7/13 伊東クラブ 7/27 熱海クラブ

7/31～8/2 アジア大会(京都)



8/29 北海道部会・札幌C 60周年



9/3 北東部部会(仙台市長表敬訪問)



仙台市長表敬訪問 仙台市・荒浜地区

10/18 あずさ部部会(甲府)



昨年度は、東日本区、あずさ部、クラブと三つのキャビネットをやり遂げた甲府クラブでした。8月例会の活動報告で使われた40枚近いスライドの中から、渡辺理事の活動を中心に、厳選してここに掲載します。仙洞田会員作成。

11/28 東日本区メネットのつどい(熱海)



12/11~15 アジア地域年央会議(韓国)



2/27 津波の教え石除幕式(石巻)



3/6 次期会長・部役員研修会(東山荘)



4/2 石巻広域C設立総会



甲府から7名参加

5/22 東京多摩みなみC設立総会



6/5 東日本区大会-引き継ぎ



6/25~26 西日本区大会(大阪)

